

## 【清川村】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒一人ひとりの資質・能力を伸ばすという観点からICT環境や先端技術を最大限に活用することなどにより、教職員が個々の児童生徒の学習状況を一元的に把握でき、その才能を存分に伸ばせる高度な学びの機会にアクセスできます。1人1台の端末環境を生かして、日常的に活用することで、ICTの活用が特別なことではなく「当たり前」のこととなるようICTにより現実の社会で行われる方法を児童生徒が学び、学校教育を現実化するのに最短な方法として、児童生徒自身がICTを「文房具」として活用できる授業展開をする環境を整備することが重要です。

多様な実態を踏まえ、高等教育における1人1台端末の現状に橋渡しできるよう、ICT教育人材の確保や効率化し、児童生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導、学習活動の充実を図ります。

#### 2. GIGA第1期の総括

令和5年度に1回目の端末更新整備を行い、児童生徒に1人1台配布しました。令和2年度にモバイルWi-Fiルーターを整備し、教室での授業だけではなく研究発表等にも活用するなど学習の中心的ものになりつつあります。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第1期では、1人1台端末を「文房具の一つ」として日常的に活用することに力を注いできた結果、1人1台端末は児童生徒にとって必要不可欠な学びの道具となっている。GIGA第2期においても、次の通り、1人1台端末の利活用を維持していく。

##### ①1人1台端末の積極的活用

1人1台端末の利活用において、学習場面では学習支援システム等を積極的に活用する。AIドリルを用いて学力の定着を図ることや、学習状況のモニタリングを通して友だちの進捗状況を手掛かりに学びを深めたり、共同編集機能を活用して協働する他者の意見を尊重しながら自分の意見をまとめたりする力を身につけさせることができる。また、端末の家庭への持ち帰りを日常化し、校内だけでなく、家庭学習での活用も更に充実させていく。

## ②個別最適・協働的な学びの充実

1人1台端末の利用により「個別最適な学び」の充実を図る。その際に、ICTを活用し学習履歴や学力テストのデータを利活用することで、一人ひとりの児童生徒の学習進度に応じた指導の個別化を進めていく。また、一人ひとりの児童生徒の興味・関心や意欲に応じた学習活動の機会を提供する学習の個性化にも注目して活用の幅を広げていく。

## ③学びの保障

1人1台端末によって、適切な資料提示等、一人ひとりの状況に応じた学びを支援し保障する。また、教師と子どもや子ども同士がつながることによって、児童生徒の学びに伴走する。さらに、個々の家庭状況や学校で授業を受けられない児童生徒に対する学びの機会の保障を確保することができる。

いずれにせよ、1人1台端末の利用を推進するためには、教職員のスキルアップが必須である。ICT研修の充実を図ることにより学校間・教職員間の利用格差の解消に努めたい。